

つながりサポート型相談窓口設置事業【長万部町】

地域の実情と課題

2015年の総人口に占める高齢者(65歳以上)の割合が約4割に迫る状況にあり、加えて人口減少が進行している。急速な少子高齢化と人口減少を緩和させ、女性や若者、高齢者、外国人など多様な層が安心して住むことができるまちづくりが課題となっており、男女が共に支え合う地域社会の形成に向け、子育て支援体制の充実や政策形成過程における女性の参画を推進する必要がある。

目的・目標

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、飲食店、旅館業に従事する者をはじめとして、町内の経済環境は非常に厳しい水準を推移している。女性が気軽に相談し、支援を受けられる環境を整えることにより、不安を抱える女性が社会から孤立し、一人で悩まないよう社会との絆・つながりを回復させることが目的に相談窓口を設置、利用者数:10人、KPIを支援につながった利用者数5人として実施。

事業の特徴

長万部町社会福祉協議会へ相談窓口設置等について事業委託し、生活支援コーディネーターが勤務時間外に2名で対応。

相談日 第1・第3土曜日10:00～12:00

第2・第4水曜日17:00～19:00

事業周知 チラシを作成し各団体等へ配布

公共施設等のトイレに相談受付のカードを配置

連携団体

町福祉係～広報(町HP・広報への掲載、防災無線による周知)
小中高校～事業説明を行い生理用品を提供

事業の効果

相談窓口の設置や生理用品を提供したことにより生活不安を抱える女性等に対する支援を行うことができた。また、事業目標やKPIを達成できなかったが、独自のアンケート調査により生活困窮等の実態を把握することができた。

今後の課題

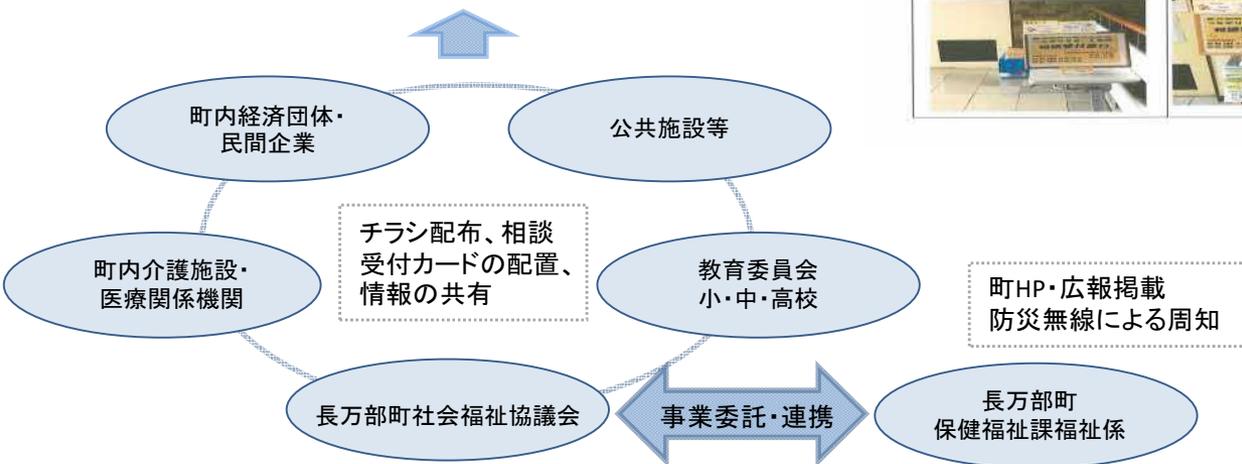
経済的な理由で生理用品が買うことができない等の「生理の貧困」の問題は、コロナ過だけの問題ではなく、以前から虐待やネグレクト等々の社会的課題と関連しているものであり、相談しにくい問題であると思うので実態を把握するためにも、もっと相談しやすい環境と場が必要であると考えます。

つながりサポート型相談窓口設置委託事業

実施期間令和3年7月1日～令和4年3月15日 総事業費900,000円

〈女性活躍の推進・課題〉

女性や若者、高齢者、外国人など多様な層が安心して住むことができるまちづくりが課題となっており、男女が共に支え合う地域社会の形成に向け、子育て支援体制の充実や政策形成過程における女性の参画を推進する必要がある。



〈委託事業の概要〉

不安を抱える女性が社会から孤立し、一人で悩まないよう社会との絆・つながりを回復させることが目的に相談窓口を設置

事業目標 利用者数: 10人

KPI 支援につながった利用者数5人

生活支援コーディネーターが勤務時間外に2名で対応

相談日 第1・第3土曜日 10:00～12:00

第2・第4水曜日 17:00～19:00

〈効果〉

相談窓口の設置や生理用品を提供したことにより生活不安を抱える女性等に対する支援を行うことができた。また、事業目標やKPIを達成できなかったが、独自のアンケート調査により生活困窮等の実態を把握することができた。

〈今後の課題〉

経済的な理由で生理用品が買えない等の「生理の貧困」の問題は、コロナ過だけの問題ではなく、以前から虐待やネグレクト等々の社会的課題と関連しているものであり、相談しにくい問題である。実態を把握するためにも、もっと相談しやすい環境と場が必要である。